

		事務事業No.	14-	1
事業名	水道事業会計	会計 特会	款	項 目
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	上下水道課	
施 策	9-6 上下水道整備・管理	係名		

1 事務事業の目的・内容

事業 目的	対象	上水道施設	目的（対象がどのような状態になっているか）	上水道の安定供給のため、水道施設更新計画及び経営戦略に則り、事業を着実に推進し、経営効率化や収入確保対策を行い経営基盤の安定化を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・原水及び浄水費・・・水源地等施設の動力費、点検委託料、修繕費等に係る費用 ・配水及び給水費・・・公道漏水等修繕費等、配水及び給水に係る費用 ・総係費・・・・・・・・・・2名分人件費、料金徴収業務等、事業活動の全般に係る費用 ・減価償却費・・・・・・・・有形固定資産等の減価償却費 ・その他・・・・・・・・・・固定資産除却費、貯蔵品減耗費、その他営業費用、企業債利息 ・水道拡張費・・・・・・・・1名分人件費、上水道管理事務所更新工事及びその他配水管布設工事 ・企業債償還金・・・・・・企業債元金償還金 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	水質基準達成率	100	100	100	%	→	100
	2	導水管、送水管更新延長	—	—	—	km	→	—
	3	有収率	86.2	88.3	87.9	%	→	88.00
	4							
	5							
			令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）	
全体事業費（千円）			604,339		541,079		703,757	
財源 内訳	うち一般財源		700		2,500		2,600	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	C 削減の余地が大きい
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	経営基盤の強化に努めながら施設の延命化、投資の平準化等、計画的な事業の推進を図る。施設更新に合わせ、機器による省力化と電力消費を抑える運用を行う。	③取組の課題	今後、管路更新工事を実施するにあたり、多額の費用が継続的に必要な中、実施できる人員、人材、施工業者が不足する等、官民ともに人材育成が必要である一方、財源である水道料金は水需要の低下が予測される。
②R6年度に実施した取り組み	令和3年度から令和6年度まで、上水道管理事務所において耐用年数が経過した電気・機械設備の更新を行った。また、稼働率の高い低区送水ポンプモーターのスペアを確保し、上水道の安定供給に努めた。	④今後の改善計画	経営基盤の強化に努めながら施設の延命化、投資の平準化等、計画的な事業の推進を図る。また、広域化・民間活力の活用を図るため包括的民間委託を導入し、官民連携による事業運営を目指す。